



昼休みにグラウンドで雪遊びを楽しむ子どもたち



ほ う な い

第12号

村上市立保内小学校
強い心 豊かな心

〒959-3107

村上市下鍛冶屋264-2

TEL0254-62-2302

FAX0254-62-5553

大雪の中に見えた風景

校長 須貝 学

新学期が始まってすぐ、強い寒波による大雪に見舞われまし
た。三連休明けには、一部の地
区でスクールバスの運行ができ
ず、各家庭にお子さんの送迎
をお願いしました。他の地区で
も乗車場所や学校まで引率して
くださったりと地域・保護者の
皆様には大変お世話になりました。
それと共に、道路の除雪に
関係した行政の方々や委託され
ていた業者の皆さんには、子ど
もたちの安全な登下校と日常の
学校生活を守るために、本当に
お世話になりました。

学校前の道路、子どもたちが
登下校で歩く歩道や歩道橋、バ
スの乗降場所など、懸命な除雪
作業をしていただきました。な
かなか作業が追いつかず、即日
には満足な状態にはならず、徐
々に改善されていったところも
ありました。今回の大雪は、あ
まりに急速な積雪であったこ
と、ここ数年の少雪に慣れてし
まっていたこともあり、さまざま
な問題点が浮き彫りになり、
除雪に対する要求や不満の声も

多く聞かれました。ニュースや
新聞の報道でも除雪への対応が
話題として取り上げられていま
した。その一方で、関係する方
への感謝の思いが報じられた記
事には心温まる思いもしました。

災害時に用いられる言葉で「自
助、公助、共助・互助」などが
あります。地域やコミュニティ
といった周囲の人たちが協力し
て助け合う「共助・互助」は、
いざという時、大きな力を発揮
します。東日本大震災などの大
きな災害においても、最も効果
的な力になったのは、この共助
や互助だったそうです。今一度、
地域で暮らす私たちは、コミュ
ニティとしての地域の共同体制
や結束力を見直していく必要が
あるのではないのでしょうか。

子どもたちが、上級生を先頭
にかばい合って雪道を懸命に歩
いている。地域の人たちが雪を
踏んで道を付けたら、登校する
子どもたちを見守ったりしてい
る。そんな凜とした雪国の風景
が、更にこの荒川地区でたくさ
ん見られることを願います。